

神山神社だより

平成28年11月
17号

■はじめに

十月は神無月といい、全国各地の神様が
出雲大社にお集まりになることから、神
社には神様が不在となってしまう月と呼
ばれています。出雲大社では今年一年の
報告、来年の天候、農作物や酒の出来
などが神様同士で話し合われているそ
うです。神様が決めたことなのかどう
かはわかりませんが、熊本の震災、連
続台風による東北地方、北海道地区の
水害、各地での被害は甚大なものがあ
りました。このことは、地球環境が私
たち人間にとって悪い方向へ向かって
いる証明では無いかと思います。神様
がいくら話し合いを行い、決めていて
もそれ以上に人類が環境を壊している
ことが原因かもしれません。災害に遭
われた方にお見舞い申し上げると共に
一刻も早い復興を願っています。

報告 岐阜県神社庁では復興義捐金

として千三百万円をお送りいたしました。
その内、中津川市支部にて九十七
万円、当神社では五万円納付させてい
ただきました。

■神宮大麻

毎年十二月、各家庭に氏子総代さんを
通じて頒布させていただいている神宮
大麻についてお話をさせていただきます。

日本の神社の総社である伊勢の神宮
より神社庁を経由して各家庭で受けて
いただく神札を大麻といいます。神社
では麻（あさ）と云う事でいろんなと
ころに利用しています。注連縄（しめ
なわ）に紙垂（しで）をつけるとき利
用、お祓いする神に付けて利用、熨斗
袋を縛るのに利用、玉串に利用 また
神社以外にも花火の助然剤、合掌造り
のかやぶき屋根の縛りに利用、相撲の
化粧まわしも麻を利用します。昔から
大麻は身の回りに存在していました。
ではなぜ神札を大麻と云うかと云うと
伊勢神宮の御師（おんし）が、頒布し
た御祓（おはらい）大麻が起源です。
今では、神札の中に大麻が入っており
その神札を受け、祀ることは神宮の神
である天照大神様の崇敬を表すもので

あります。

大麻と云うと麻薬と思う人が大半を
占めますが、日本人が昔から利用して
きた日本産大麻には麻薬としての精神
作用物質はほとんど含まれていないそ
うです。海外から持ち込まれた大麻草
が規制を受けることで、日本産大麻が
誤った解釈で栽培認可が厳しくなりま
した。今では日本産大麻を栽培する農
家が全国で十数件しかないそうです。
その日本産大麻が神宮大麻に使われて
います。では、一般の神社で使われる
麻はどうかと云うとそのほとんどが中
国産です。ここでも伝統文化が失われ、
大麻と云うだけで拒絶反応を示す人が
いるくらいです。

神宮大麻の神札はその製作過程から
お祓いし、お祭りを行ないます。

四月に大麻用材始式（神宮）

九月に大麻頒布始祭（神宮）

十月に大麻頒布始奉告祭（県神社庁）

十月に支部大麻頒布式（各市郡）

十月に部会大麻頒布式（各町村区）

十一月に大麻頒布式（神社）

このようにいくつものお祓いを経て各
家庭へと頒布されるわけです。よく、

「伊勢神宮へ行った時に受けるからい
いよ」といわれる人がいますが、幾つ
ものお祓いを経た神札のほうがありが

たみがあるように思います。

■近日のお祭り

・七五三祭り

齋行日 十一月十三日（日）

九時三十分受付開始

申し込み先 宮司 深谷耕平

電話 0573-72-2892

FAX 0573-72-2892

・秋祭り（甘酒祭り）

齋行日 十一月二十三日（水）

十四時神事

神事終了後、投げ餅・甘酒

■新春伊勢参り

来年の神社恒例の新春伊勢参宮旅行
は一月二十日（金）・二十一日（土）に
決定いたしました。今年一月の伊勢参
りは一日目無事、お参りすることが出
来ましたが、二日目は大雪に見舞われ
て昼食会場、おちよぼ稲荷の参拝が出
来ませんでした。来年一月の伊勢参宮
旅行の二日目は今年いけなかったおち
よぼ稲荷へ行くことに決定いたしまし
たので報告申し上げます。裏へ

毎年、参加人数が増え、特に福岡区では夫婦の参加率が上がってきております。通常の旅行とは違い、内宮での御垣内参拝（神殿近くでの参拝）が特別に出来ますので、ぜひ参加申し込みをお願いします。

地区の氏子総代さんが申し込みチラシをお配りします。締め切りが十二月末日頃となりますので早めにお願いたします。



■ 巫女募集

元旦0時より正月三日間、神札・お守り・おみくじの頒布しております。朝九時より昼三時まで三日間、そのお手伝いしていただける方を募集します。

募集人員 二名

アルバイト料 一万八千円

連絡先 宮司 深谷耕平

電話 0573-72-2892



■ 大祓い式

斎行日 十二月三十日（金）十四時

七月から十二月までの半年間の内に犯した罪や受けた穢れを落とし祓い清め、この後の半年間の健康と厄除けの祈願をする神事です。「年越の大祓い」とも云います。榊山神社では氏子の皆様方の罪穢れを落とし健康厄除けを祈願するにあたって、人形を利用しお祓いいたします。その人形に名前と年齢を記入し自分が行った罪・受けた穢れを移して神様の祓いを受けていただくためのものです。地区氏子総代さんにより人形をお配りします

のでぜひお受けください

■ 正月の厄祓い・還暦祝い

人の一生の内、厄に遭う事、それが多いから忌み慎まねばならないとする年を厄年といい、数え年で男性二十五歳・四十二歳・六十一歳・女性十九歳・三十三歳・三十七歳でお祓いを受けます。また長寿の祝いで男性女性問わず六十歳を還暦祝いといい、神社では奉告祭を執り行います。その他祈願の申し込みを受け付けておりますので個人・団体問わずお待ちしております。

連絡先 宮司 深谷耕平

電話 0573-72-2892

■ 神社からのお願

神社の境内には「古札納め所」があります。これは、一年間神棚に納めていた神札や肌身離さず持っているお守りを神社に返納するところですがときどき人形や陶器、注連縄などが混入していることがあります。本来、神事を行うにお祓いを受けたものを返す場所ですので、誤って入れないでください。供養の為、人形など持って来られる方は生抜きのお祓いを行ないます。神職に相談の上、処分をお願いします。

榊山神社の境内を見渡しますと本殿、拝殿は基より、春宮、夏宮、神饌所、調神所、忠魂社、洲原社、天神社、稻荷社、社務所、氏子会館、御神楽殿、手水舎、宝物蔵、旧保育園 と多くの建物が建立しております。特に本殿周りの建物は明治初期に改築され百二十年以上経過しており中津川市の文化財ともなっています。その間、手が加えられ今日に至るわけですが、最近の地震により心配が付きませんが、そんな中、本年度、手水舎を耐震の為、約百二十万円懸け改修を行いました。また計画では、本殿から境内下までの排水が悪く雨が降ると水浸しになるので側溝、パイプ等の設置拡張も来年度、始めに行う予定です。ご理解の上、ご承知おきください。このように毎年、何らかの手を加えないと神社の維持が難しくなっており、そのほかの建物、施設についても今後の為に早めに手を打つべく、委員会を設置し進めていく所存です。費用もかかる事から区民の皆様方の更なるご協力を賜りたいと思いますので宜しくお願いたします。

※十月一日〜十一月二十七日まで遠山史料館にて「美濃の刀」展が開催されます。榊山神社の重要文化財の刀剣が展示されていますのでご覧ください。